



インフルエンザ予防接種

助成期間が終了します。  
お早めに！

【助成期間】令和6年1月31日(水)まで

【助成対象者】日南町から助成券が届いている方

■高校生以上：予約不要 ■中学生以下：予約制

【副院長】着任

令和6年1月1日より  
鳥取大学医学部 地域医療学講座 准教授の  
浜田紀宏医師が副院長として着任されます。

現在、当院の外来診療  
(内科) や、訪問診療を  
行っています。

浜田副院長を新たにお迎  
えし、当院を利用される皆  
さまに頼りにしていただ  
ける病院を目指します。



はまだとしひろ  
浜田 紀宏 副院長

12月の外来待合室を飾る多肉植物

Merry  
Christmas



※リースをイメージ  
した寄せ植えです。

多肉植物の寄せ植えを、職員が心を込めて  
飾り付けしました。

「新病院基本構想(案)」及び  
「日南病院経営強化プラン(案)」に対する  
パブリックコメント(意見募集)の  
実施について

本年度「日南病院あり方検討委員会」において議論  
いただいています「新病院基本構想(案)」及び「日  
南病院経営強化プラン(案)」について、**広く市民の  
皆さま等からご意見をいただくために、パブリックコ  
メント(意見募集)を実施します。**

実施時期は1月上旬から約1か月間を予定しており、  
日南病院公式ホームページ及び各地域振興センターに  
構想(案)及びプラン(案)を配布させていただき、  
地域振興センターでのお預かり、メール、Fax、郵送  
等により皆さまからのご意見を頂戴したく準備を進め  
ておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。  
開始にあたっては改めてちゃんねる日南等でお知ら  
せいたします。

謹んで新年の

ご挨拶を申し上げます

新たな年を迎え、気持ちも新たに一歩ずつ目標に  
向って前へ進んでまいります。

「日南病院あり方検討委員会」を立ち上げ、日南病院  
のあるべき姿を多くの方に意見をいただきながら、  
協議を行ってまいりました。また、新たな事業では国  
から無医地区に指定された地域に巡回診療を始めまし  
た。今後はへき地医療拠点病院の指定を目指し、引き  
続き巡回診療を継続してまいります。

いても初期診断あるいは内科的診断で可能な治療も  
行ってまいります。

そして、今年も日南病院では常勤の総合診療専攻医  
を配置し、鳥取大学医学部の地域医療教育プログラム  
における医学部学生の受入れを行います。

地域医療を支える日南病院として今年一年住民の  
皆さまにとって、頼れる病院を目指して職員一同精進  
してまいります。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸をお  
祈り申し上げます。  
本年もどうぞよろしくお願いたします。

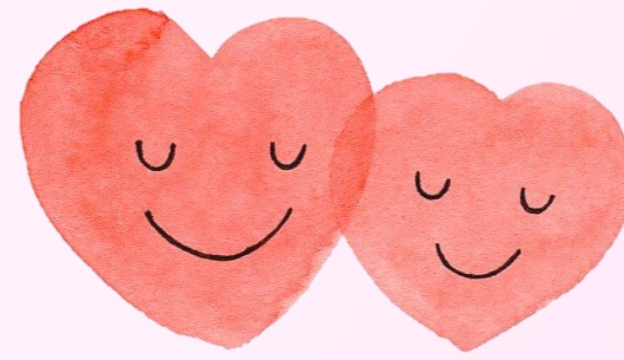


事業管理者 福家寿樹

新年度の4月からは、昨年より空席となっておりま  
した病院長に鳥取大学医学部地域医療学講座より准教  
授の浜田紀宏(はまだとしひろ)先生が着任していただく  
ことが決まり、日南町と周辺の地域医療の更なる向上  
に期待していただけるものと思っております。浜田先  
生は、大学では総合診療医を目指す医師の指導医とし  
て高齢者ケア、プライマリ・ケア(病気だけでなく健  
康な人も含め、その人をずっと診るなど幅広い意味を  
持つ言葉)に関する教育を担ってられます。また、  
高い総合診療マインドをお持ちになられ、内科(循環  
器内科)を主として、整形外科領域や小児科領域にお



「こころ」の悩みを  
お気軽に病院のスタッフに  
ご相談下さい



<< こころの連携指導料 認定施設 >>

令和5年10月より日南病院が「こころの連携指導料Ⅰ認定施設」として認定されました。これは連携施設である西伯病院・日野病院の精神科医と日南病院が連携をして、「心の病気」によってあらわれる**気分の落ち込み、眠れない、食欲がない等**の症状を適切に治療していこうという制度になります。

制度概要

こころの連携指導料Ⅰ  
認定施設  
日南病院で相談・診察

連携

連携施設  
西伯病院・日野病院  
の精神科へ受診

- ・問診によるスクリーニングを紹介状に記載
- ・生活での困りごと等について記載



皆さんの支えに  
なりたいと思っています。  
いつでも  
ご相談ください。

<< 病院職員勉強会 >>

施設認定にあたって職員勉強会を行いました。問診によるうつ病のスクリーニング検査のレクチャー（勉強会）を通して、「心の病気」を抱える方の支えになることができるような職員になることを目的としています。

「気持ちの落ち込みがあって心の病気が心配。でも、先生に相談するほど悩んでいる」「仲のいい看護師さんやリハビリの先生にだったら話ができる」といったこともあると思います。もし、心配なことがあれば**自分が話をしやすい病院の職員に「誰でもいい」ので相談をしてみてください。**

日南小学校

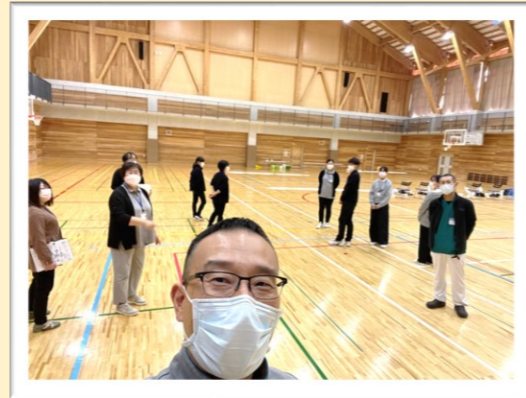
高齢者・車イス体験

今回日南病院は、福祉保健課、日南福祉会、日南町社会福祉協議会と協働で日南小学校での高齢者・車イス体験のお手伝いをしてきました。

当院からは、地域連携室の上田社会福祉士とリハビリテーション科の田辺理学療法士が担当しました。

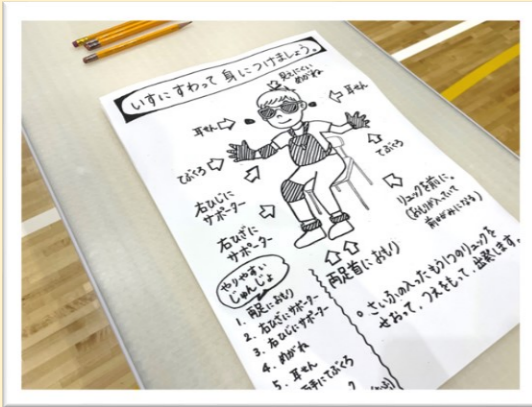
対象は小学校4年生の元気いっぱいの子供の皆さんです。日南小学校では、これまで手話や認知症など障害福祉の学習に取り組んできました。今回は最終回として高齢者・車イス体験を行いました。

高齢者体験では、関節を制限するサポーターや杖、白内障を体験できる眼鏡や、手の感覚障害を再現するための手袋、難聴を再現するための耳栓をして買い物を体験します。杖を持つての買い物の大変さやお金がつかみにくく支払いの際に時間がかかってしまうことなどを体験しました。



2023年11月8日 スタッフ一同

※鳥取大学医学部保健学科3年生4名もお手伝いに来てくださいました。



車イス体験では、通常当院の玄関に置いてある車イスを用いて介助する人と乗る人に分かれて体験しました。乗っている人が怖くないように声掛けをしたり、けがをしないようブレーキや壁・扉に当たらないような操作方法について学びました。また坂道では、利用者の安全のため、後ろ向きで下る練習をします。乗っている生徒さんから「怖い」との声が聞かれ乗っている人の気持ちも感じ取れたようです。

全体を通じて大変興味を持って学習していただけました。将来医療・介護や福祉の仕事についていただけるとうれしいですね。

日南病院では、これからも町民の皆様と一緒に地域づくりと地域医療に取り組んでいきます。



シール貼り  
楽しい♪



ウイルスを注射で  
やっつけろ～！！



【10月】町のイベント  
ふる里まつりに参加！  
10月29日（日）に開催された、ふる里まつりに日南病院も参加しました。当日は、参加してくれた子ども達が医師や看護師の白衣（子ども用）を着用して、血圧測定や、聴診器、注射器を使ったゲームをして、楽しんでもらいました。